

### 3 - 2 - 4 業種別とりまとめ

#### ( 1 ) 業種別の届出事業所数、構成比及び届出物質数等

届出事業所の業種を業種グループ別に分類しつつ、業種別に届出事業所数とその構成比及び届出物質数、延べ届出物質数、平均物質数をとりまとめたのが、表3 - 21、図3 - 44、図3 - 45である。

届出事業所の業種として最も多かったのは、燃料小売業で715の届出があり、全体の47.19%を占めていた。次いで多かったのは化学工業の136件で、8.98%、以下、下水道業の109件、7.19%、一般廃棄物処理業の61件、4.03%、金属製品製造業の59件、3.89%、電気機械器具製造業の57件、3.76%であった。

届出事業所の件数を製造業と非製造業の構成比で見ると製造業が575件で全体の37.95%、非製造業が62.05%であった。

延べ届出物質数で見ると製造業で、2172件、非製造業で7007件であった。平均届出物質数で見ても製造業で3.8、非製造業で7.5でいずれも非製造業が上回っていた。

この要因として届出業種として上位を占めている燃料小売業、下水道業の事業所の届出がが寄与しているものと想定された。

表 3 - 2 1 業種別の届出事業所数、構成比及び届出物質数等

業種グループ	業種	届出事業所数	構成比	届出物質数	延べ届出物質数	平均届出物質数
化学系製造業	化学工業	136	8.98%	155	1,049	7.7
	石油製品・石炭製品製造業	10	0.66%	14	45	4.5
	プラスチック製品製造業	35	2.31%	21	73	2.1
	ゴム製品製造業	13	0.86%	13	45	3.5
金属系製造業	鉄鋼業	28	1.85%	37	143	5.1
	非鉄金属製造業	31	2.05%	30	143	4.6
	金属製品製造業	59	3.89%	26	116	2.0
機械系製造業	一般機械器具製造業	30	1.98%	18	76	2.5
	電気機械器具製造業	57	3.76%	29	121	2.1
	輸送用機械器具製造業	21	1.39%	22	64	3.0
	精密機械器具製造業	3	0.2%	5	5	1.7
その他製造業	食料品製造業	22	1.45%	12	34	1.5
	飲料・飼料・たばこ製造業	10	0.66%	5	13	1.3
	繊維工業	9	0.59%	6	13	1.4
	衣服・その他の繊維製品製造業	3	0.2%	8	8	2.7
	木材・木製品製造業	13	0.86%	7	19	1.5
	家具・装備品製造業	3	0.2%	2	4	1.3
	パルプ・紙・紙加工品製造業	19	1.25%	8	29	1.5
	出版・印刷・同関連産業	13	0.86%	7	20	1.5
	なめし革・同製品・毛皮製造業	9	0.59%	9	24	2.7
	窯業・土石製品製造業	21	1.39%	22	49	2.3
	武器製造業	1	0.07%	1	1	1.0
	その他の製造業	29	1.91%	27	78	2.7
	非製造業	金属鉱業	3	0.2%	3	9
電気業		4	0.26%	3	7	1.8
ガス業		1	0.07%	1	1	1.0
熱供給業		1	0.07%	1	1	1.0
下水道業		109	7.19%	31	3,102	28.5
鉄道業		1	0.07%	1	1	1.0
倉庫業		8	0.53%	22	37	4.6
石油卸売業		6	0.4%	5	23	3.8
自動車卸売業		1	0.07%	4	4	4.0
燃料小売業		715	47.19%	5	2,970	4.2
洗濯業		5	0.33%	3	6	1.2
自動車整備業		2	0.13%	2	2	1.0
計量証明業		2	0.13%	3	3	1.5
一般廃棄物処理業		61	4.03%	28	765	12.5
産業廃棄物処分業		20	1.32%	22	75	3.8
自然科学研究所		1	0.07%	1	1	1.0
製造業小計		製造業小計	575	37.95%	484	2,172
非製造業小計	非製造業小計	940	62.05%	135	7,007	7.5
合計	合計	1515	100.0%	619	9,179	6.1

図 3 - 4 4 業種別の届出事業所数

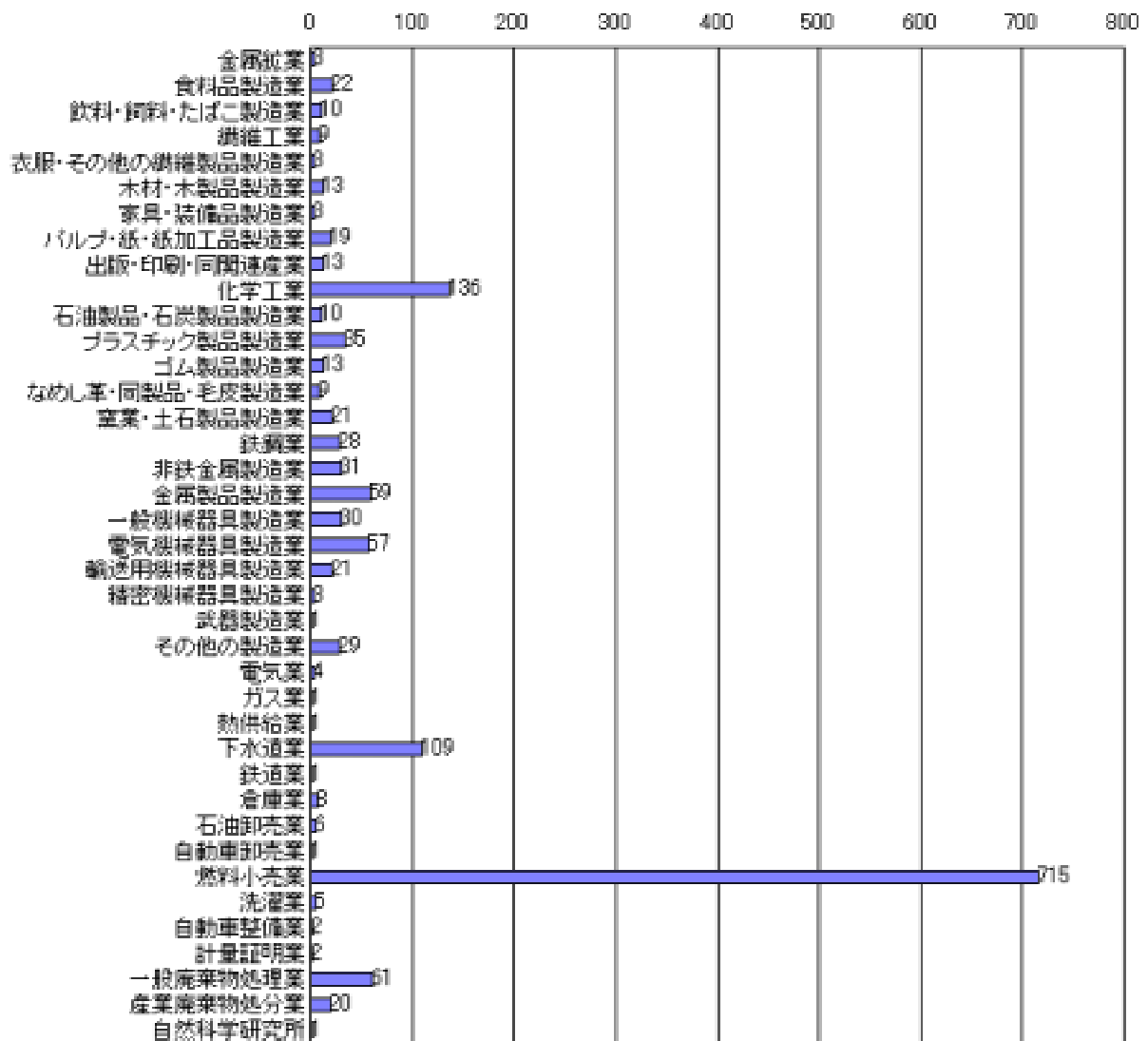
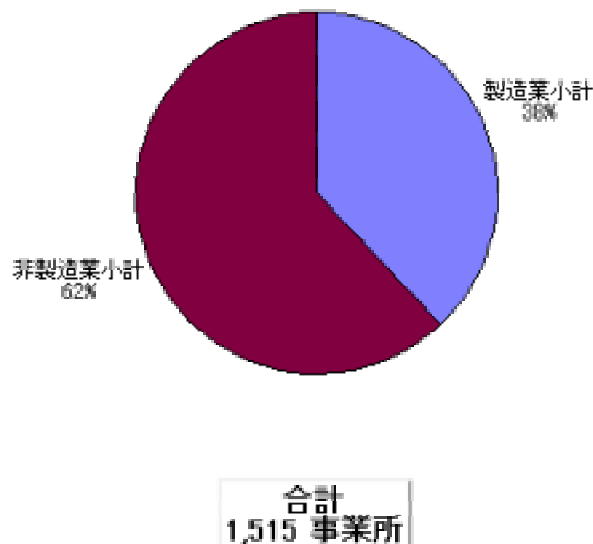


図 3 - 4 5 届出事業所数の製造業 / 非製造業構成比



(2) 業種グループ別の排出・移動先別排出・移動量及びその構成比

(1) で業種を業種グループ別に分類したが、当グループ別に排出・移動先別に排出・移動量をまとめたのが表3-22である。

業種ごとに詳細に示したのが表3-23である。

業種グループ別に排出先別構成比を見たのが図3-46～図3-50である。

また、同様に業種グループ別に移動先別構成比を見たのが図3-51～図3-55である。

最も排出量の多かったのは化学系製造業で、以下金属系製造業、機械系製造業、その他製造業、非製造業と続いていた。非製造業全体の排出量は化学系製造業の約10分の1であった。

一方、最も移動量の多かったのはやはり化学系製造業で、以下その他製造業、金属系製造業、機械系製造業、非製造業と続いていた。移動量で見ると非製造業全体の移動量は化学系製造業と比較して2桁オ・ダ・が低かった。

業種グループ別に排出先別構成比をみるといずれも大気への排出が多数を占めたが、非製造業だけが公共用水域への排出が大気を上廻っていた。これは下水道業が非製造業に分類されたことに起因している。

移動排出別構成比をみるといずれも廃棄物としての移動が多数を占めていた、

表3-22 業種グループ別の排出・移動先別排出・移動量

業種グループ	排出量(kg/年)					移動量(kg/年)		
	大気	公水	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計
化学系製造業	4,144,256	60,635	7	350,000	4,554,898	10,053,095	29,059	10,082,154
金属系製造業	1,632,093	86,304	442	1,272,500	2,991,340	4,008,713	144	4,008,857
機械系製造業	1,978,197	14,336	0	194,300	2,186,832	1,044,930	635	1,045,566
その他製造業	2,368,467	20,876	0	0	2,389,343	2,055,453	81,909	2,137,361
非製造業	210,098	214,309	0	447	424,854	158,264	9,237	167,502
合計	10,333,111	396,460	449	1,817,247	12,547,267	17,320,455	120,984	17,441,439

業種毎に排出・移動量をみると、燃料小売業は届出事業数では全体の47%を占めていたが、排出量、移動量ではそれぞれ0.38%、0.0%にすぎなかった。

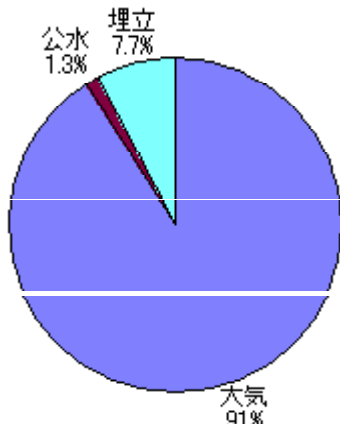
一方、化学工業は届出事業所数では約9%であったが、排出量で全体の約20%、移動量で約54%を占めていた。

また、鉄鋼業でも届出事業所数では約2%にすぎなかったが、排出量で約17%、移動量で約16%を占めていた。

表3 - 23 業種別の排出量、排出先別排出量及びその構成比・移動量、  
移動先別移動量及びその構成比

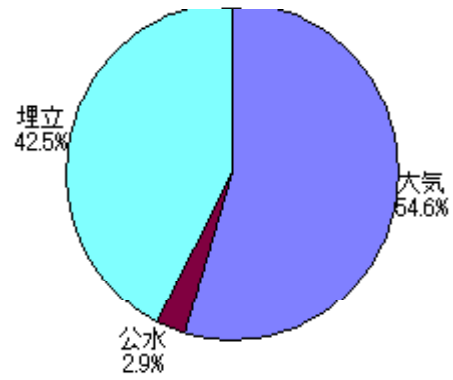
業種	排出量(kg/年)						移動量(kg/年)			
	大気	公水	土壌	埋立	合計	構成比(%)	廃棄物	下水道	合計	構成比(%)
金属鉱業	1	122	0	447	570	0.0%	0	0	0	0.0%
食料品製造業	142,450	3,400	0	0	145,850	1.16%	14,600	0	14,600	0.08%
飲料・飼料・たばこ製造業	0	1	0	0	1	0.0%	960	33,700	34,660	0.2%
繊維工業	9,570	12,530	0	0	22,100	0.18%	30,670	97	30,767	0.18%
衣服・その他の繊維製品製造業	19,900	0	0	0	19,900	0.16%	16,300	10,030	26,330	0.15%
木材・木製品製造業	25,500	0	0	0	25,500	0.2%	5,840	0	5,840	0.03%
家具・装備品製造業	360	0	0	0	360	0.0%	2,900	0	2,900	0.02%
パルプ・紙・紙加工品製造業	246,400	1,500	0	0	247,900	1.98%	343,779	11,104	354,883	2.03%
出版・印刷・同関連産業	1,349,210	0	0	0	1,349,210	10.75%	366,116	0	366,116	2.1%
化学工業	2,043,559	60,279	7	350,000	2,453,844	19.56%	9,333,398	27,169	9,360,567	53.67%
石油製品・石炭製品製造業	49,773	17	0	0	49,790	0.4%	48,111	0	48,111	0.28%
プラスチック製品製造業	1,054,618	0	0	0	1,054,618	8.41%	619,946	1,890	621,836	3.57%
ゴム製品製造業	996,306	340	0	0	996,646	7.94%	51,640	0	51,640	0.3%
なめし革・同製品・毛皮製造業	228,350	0	0	0	228,350	1.82%	43,470	26,084	69,554	0.4%
窯業・土石製品製造業	272,305	3,229	0	0	275,534	2.2%	935,668	502	936,170	5.37%
鉄鋼業	763,711	65,322	0	1,271,180	2,100,213	16.74%	2,815,729	30	2,815,758	16.14%
非鉄金属製造業	95,590	20,935	442	1,321	118,287	0.94%	748,328	5	748,333	4.29%
金属製品製造業	772,793	47	0	0	772,840	6.16%	444,657	109	444,766	2.55%
一般機械器具製造業	819,156	0	0	194,300	1,013,456	8.08%	244,335	12	244,347	1.4%
電気機械器具製造業	482,508	11,171	0	0	493,678	3.93%	693,578	622	694,200	3.98%
輸送用機械器具製造業	676,502	3,165	0	0	679,667	5.42%	90,927	0	90,928	0.52%
精密機械器具製造業	31	0	0	0	31	0.0%	16,090	1	16,091	0.09%
武器製造業	100	100	0	0	200	0.0%	5,200	0	5,200	0.03%
その他の製造業	74,322	116	0	0	74,438	0.59%	289,950	392	290,341	1.66%
電気業	7,400	0	0	0	7,400	0.06%	21,100	0	21,100	0.12%
ガス業	6,700	0	0	0	6,700	0.05%	0	0	0	0.0%
熱供給業	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
下水道業	0	210,279	0	0	210,279	1.68%	59,144	8,787	67,931	0.39%
鉄道業	1,100	0	0	0	1,100	0.01%	220	0	220	0.0%
倉庫業	111,955	13	0	0	111,968	0.89%	14,037	0	14,037	0.08%
石油卸売業	10,143	0	0	0	10,143	0.08%	0	0	0	0.0%
自動車卸売業	19	0	0	0	19	0.0%	0	0	0	0.0%
燃料小売業	47,880	0	0	0	47,880	0.38%	0	0	0	0.0%
洗濯業	18,600	0	0	0	18,600	0.15%	18,173	430	18,603	0.11%
自動車整備業	6,300	0	0	0	6,300	0.05%	0	0	0	0.0%
計量証明業	0	0	0	0	0	0.0%	2,590	0	2,590	0.01%
一般廃棄物処理業	0	3,798	0	0	3,798	0.03%	43,000	20	43,020	0.25%
産業廃棄物処分量	0	97	0	0	97	0.0%	0	0	0	0.0%
自然科学研究所	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
全業種					12,547,267				17,441,439	

図3 - 4 6 化学系製造業の排出先別排出量の構成比



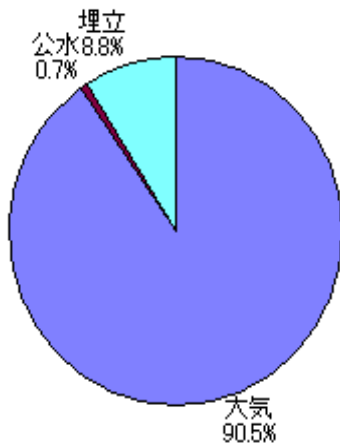
合計排出量  
4,554.9 t/年

図3 - 4 7 金属系製造業の排出先別排出量の構成比



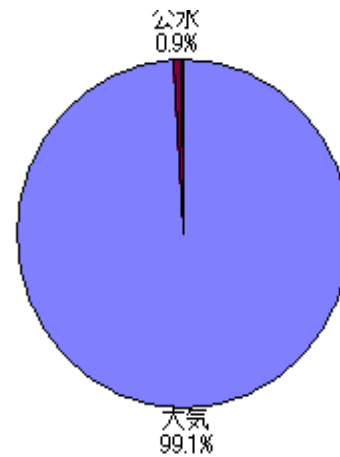
合計排出量  
2,991.3 t/年

図3 - 4 8 機械系製造業の排出先別の排出量の構成比



合計排出量  
2,186.8 t/年

図3 - 4 9 その他製造業の排出先別排出量の構成比



合計排出量  
2,389.3 t/年

図 3 - 5 0 非製造業の排出先別  
排出量の構成比

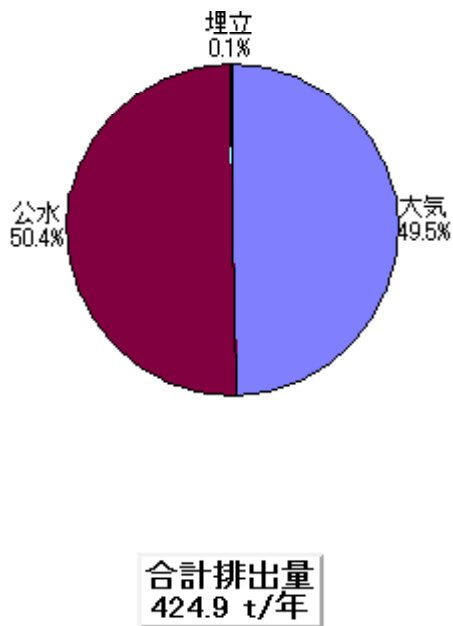


図 3 - 5 1 化学系製造業の移動先別  
移動量の構成比

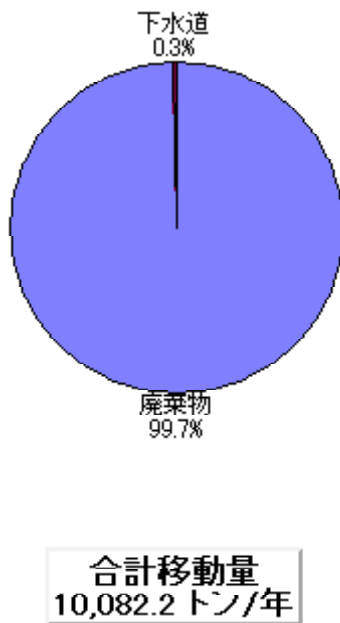


図 3 - 5 2 金属系製造業の移動先別  
移動量の構成比

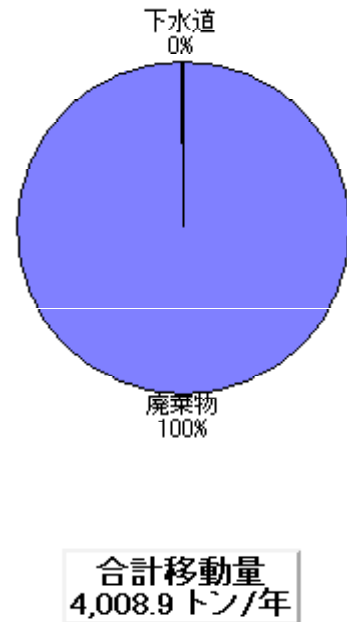
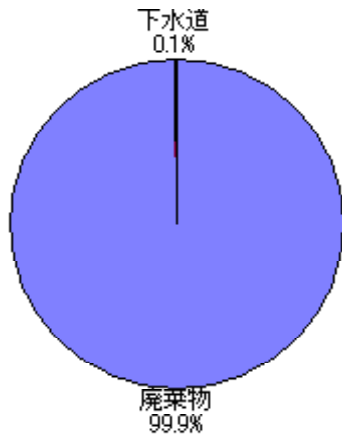


図3 - 5 3 機械系製造業の移動先別移動量の構成比



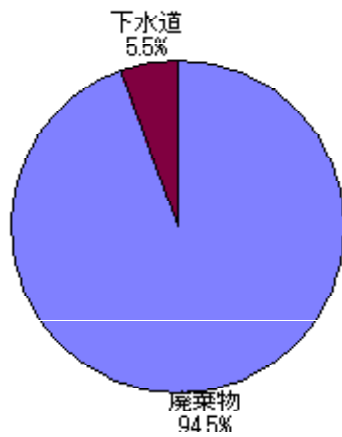
合計移動量  
1,045.6 トン/年

図3 - 5 4 その他製造業の移動先別移動量の構成比



合計移動量  
2,137.4 トン/年

図3 - 5 5 非製造業の移動先別移動量の構成比



合計移動量  
167.5 トン/年



(3) 業種グループ別の物質別（排出量上位10物質+その他）排出量とその構成比

業種グループ別の物質別排出量をその上位10物質に着目してとりまとめたのが、表3-24である。

また各グループ別に排出量とその物質別構成比をそれぞれグラフにしたのが図3-56～図3-65である。

業種グループ別にどのような物質が上位を占めているかをみると、まず化学系製造業ではトルエンが全体の約43%を占めており、上位10物質で約86%を占めていた。

金属系製造業ではマンガン及びその化合物が全体の約29%でトップとなり、上位10物質だけで約98%を占めていた。

機械系製造業ではキシレンが全体の約41%を占めてトップであり、金属系製造業と同様上位10物質で全体の約99%を占めていた。

その他製造業ではトルエンが全体の約80%以上を占めていた。上位10物質で、金属系製造業、機械系製造業と同様で全体の約98%を占めていた。

非製造業ではふっ化水素及びその水溶性塩が約26%でトップとなり、以下トルエン、ホウ素及びその化合物、キシレンと続いていた。上位10物質では全体の約90%を占めていた。

表3-24 業種グループ別の物質別（排出量上位10物質+その他）排出量とその構成比

業種グループ	対象化学物質		排出量(t/年)	構成比(%)	
	物質番号	物質名			
化学系製造業	227	トルエン	1,943.5	42.67%	
	311	マンガン及びその化合物	350.0	7.68%	
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	346.4	7.6%	
	96	クロロメタン(別名塩化メチル)	343.6	7.54%	
	172	N,N-ジメチルホルムアミド	324.1	7.11%	
	3	アクリル酸	154.6	3.39%	
	63	キシレン	151.1	3.32%	
	116	1,2-ジクロロエタン	112.3	2.47%	
	177	スチレン	101.6	2.23%	
	241	二硫化炭素	100.1	2.2%	
	上記以外の対象化学物質			627.7	13.78%
	合計			4,554.9	
金属系製造業	311	マンガン及びその化合物	882.0	29.49%	
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	579.7	19.38%	
	63	キシレン	432.6	14.46%	
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	425.3	14.22%	
	227	トルエン	301.4	10.07%	
	211	トリクロロエチレン	113.0	3.78%	
	40	エチルベンゼン	69.0	2.31%	
	200	テトラクロロエチレン	61.8	2.06%	
	68	クロム及び3価クロム化合物	44.0	1.47%	
	132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC 141b)	21.0	0.7%	
	上記以外の対象化学物質			61.6	2.06%
	合計			2,991.3	

業種グループ	対象化学物質		排出量(t/年)	構成比(%)
	物質番号	物質名		
機械系製造業	63	キシレン	895.4	40.94%
	227	トルエン	470.6	21.52%
	40	エチルベンゼン	207.1	9.47%
	68	クロム及び3価クロム化合物	180.0	8.23%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	178.9	8.18%
	177	スチレン	108.5	4.96%
	211	トリクロロエチレン	93.1	4.26%
	231	ニッケル	11.0	0.5%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	10.5	0.48%
	30	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	9.2	0.42%
		上記以外の対象化学物質	22.8	1.04%
	合計	2,186.8		
その他製造業	227	トルエン	1,926.5	80.63%
	43	エチレングリコール	126.7	5.3%
	63	キシレン	91.4	3.83%
	266	フェノール	67.2	2.81%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	67.0	2.8%
	40	エチルベンゼン	39.3	1.65%
	211	トリクロロエチレン	9.8	0.41%
	288	プロモメタン(別名臭化メチル)	9.1	0.38%
	85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC 22)	8.5	0.36%
	44	エチレングリコールモノエチルエーテル	7.0	0.29%
		上記以外の対象化学物質	36.8	1.54%
		合計	2,389.3	
非製造業	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	105.9	24.93%
	227	トルエン	65.6	15.43%
	304	ほう素及びその化合物	59.8	14.07%
	63	キシレン	37.8	8.89%
	7	アクリロニトリル	31.2	7.34%
	1	亜鉛の水溶性化合物	24.7	5.81%
	200	テトラクロロエチレン	18.6	4.38%
	116	1,2-ジクロロエタン	14.0	3.3%
	102	酢酸ビニル	12.4	2.92%
	68	クロム及び3価クロム化合物	10.8	2.54%
		上記以外の対象化学物質	44.1	10.39%
		合計	424.9	
	総計	12,547.3		

図 3 - 5 6 化学系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

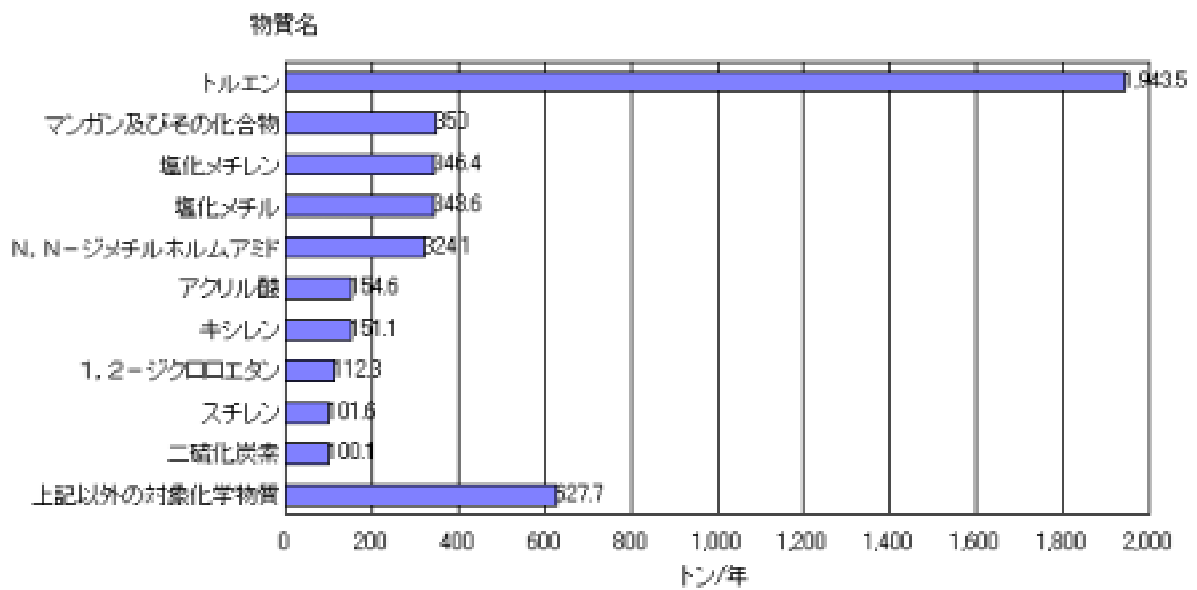


図 3 - 5 7 化学系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量構成比

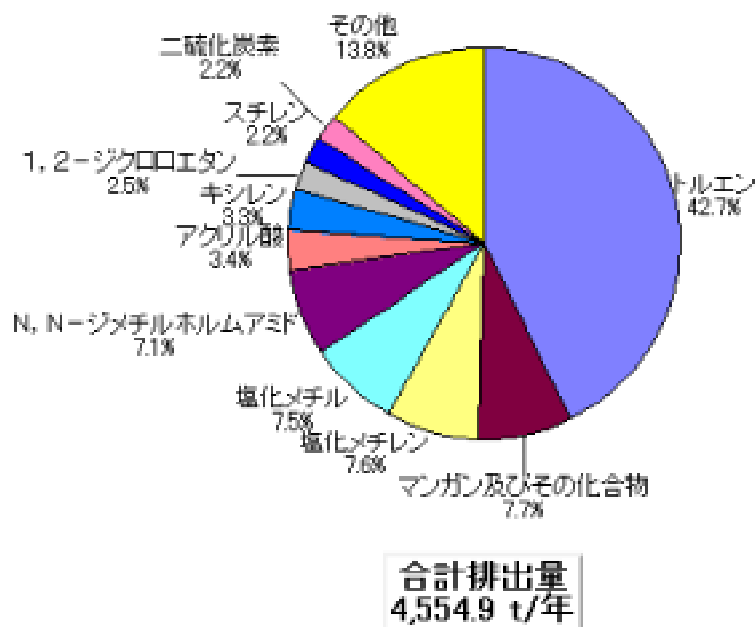


図 3 - 5 8 金属系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

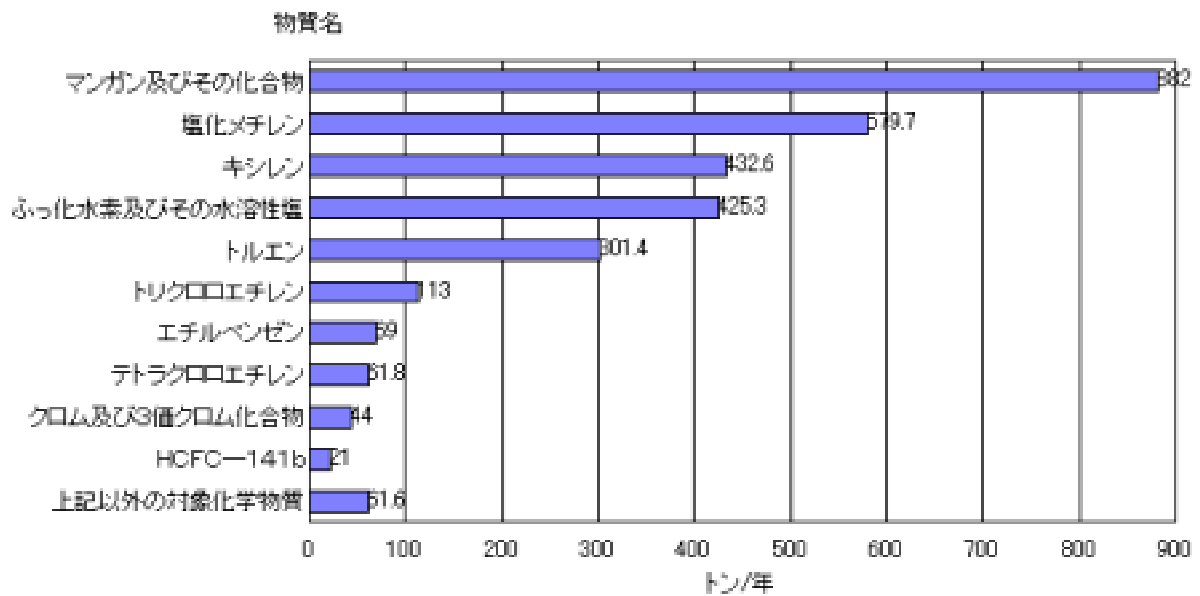


図 3 - 5 9 金属系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量構成比

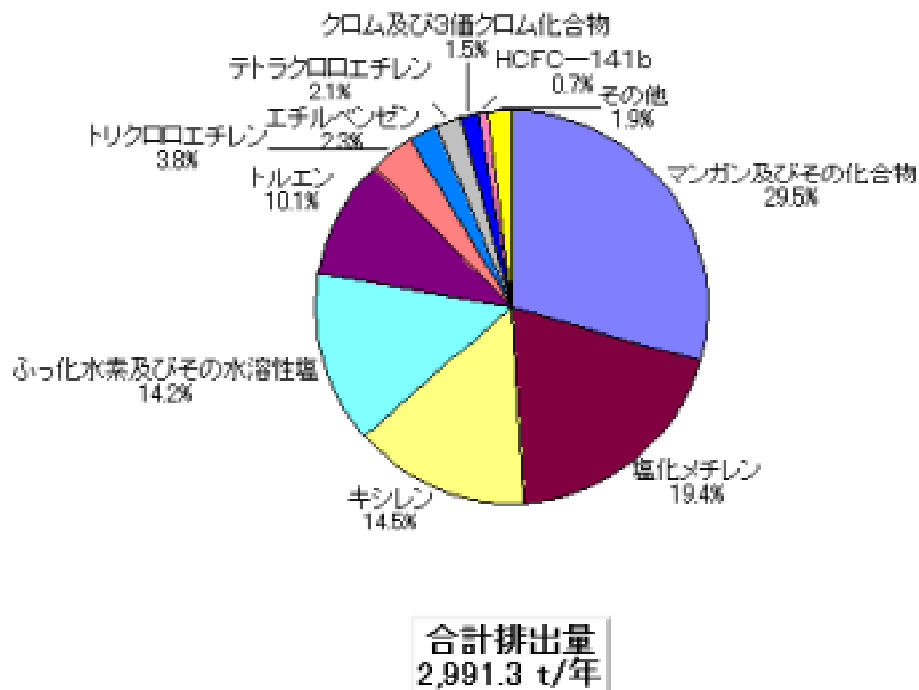


図 3 - 6 0 機械系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

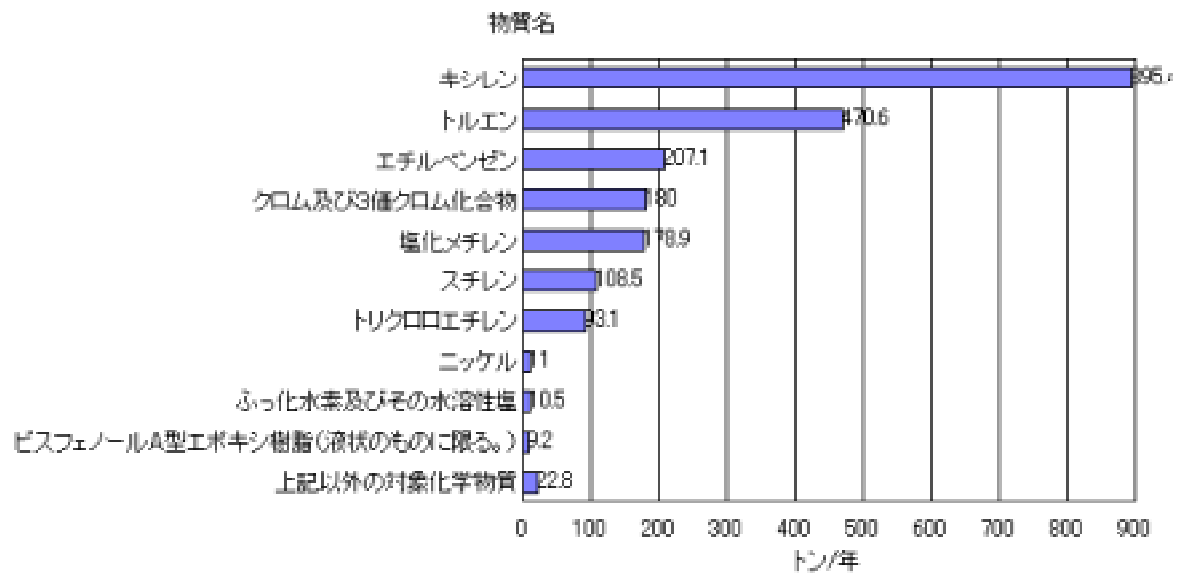


図 3 - 6 1 機械系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量構成比

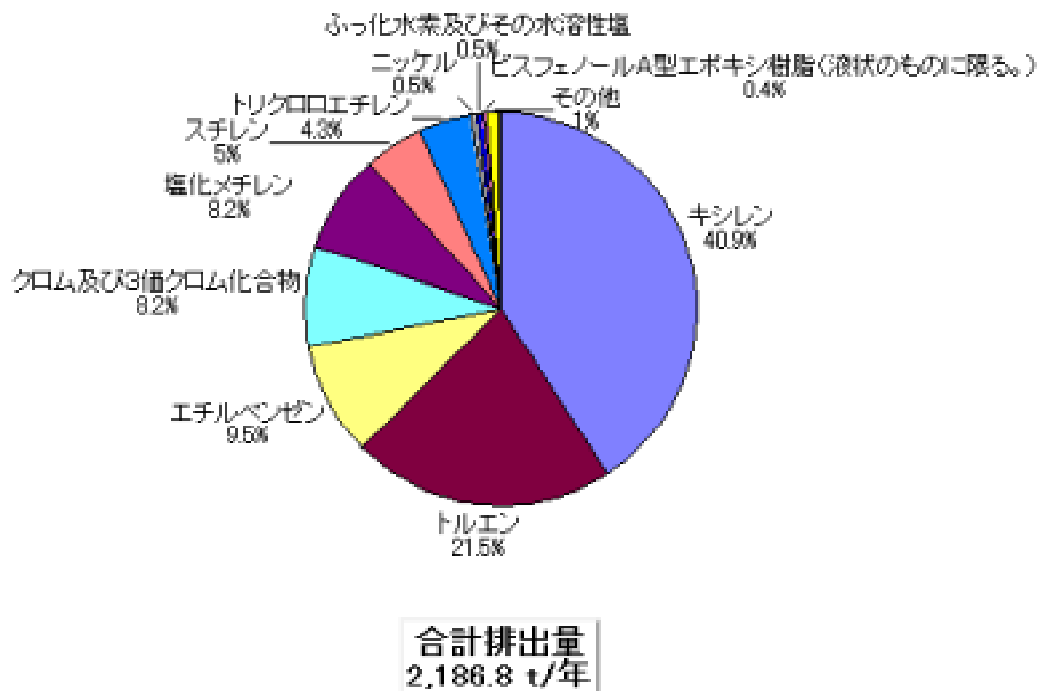


図 3 - 6 2 その他製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

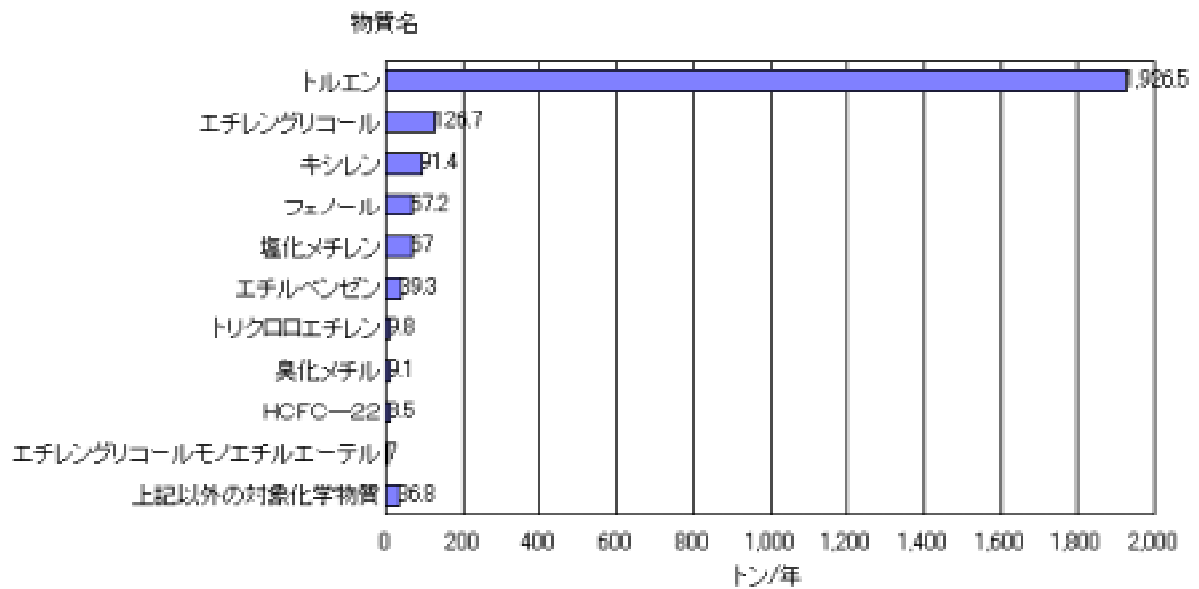


図 3 - 6 3 その他製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量構成比

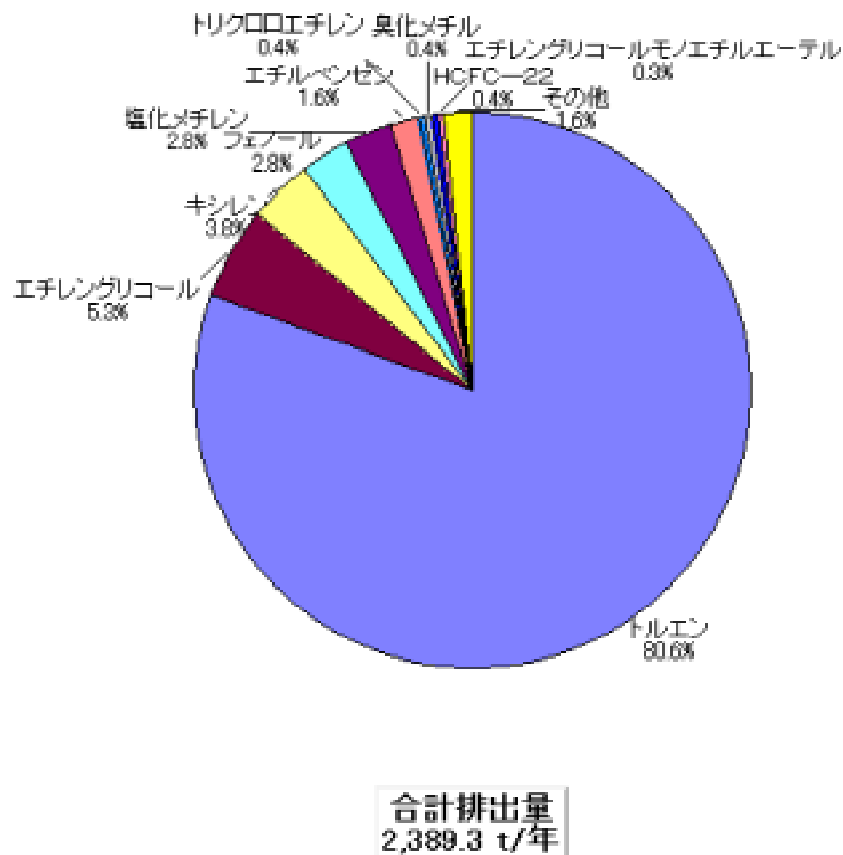


図 3 - 6 4 非製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

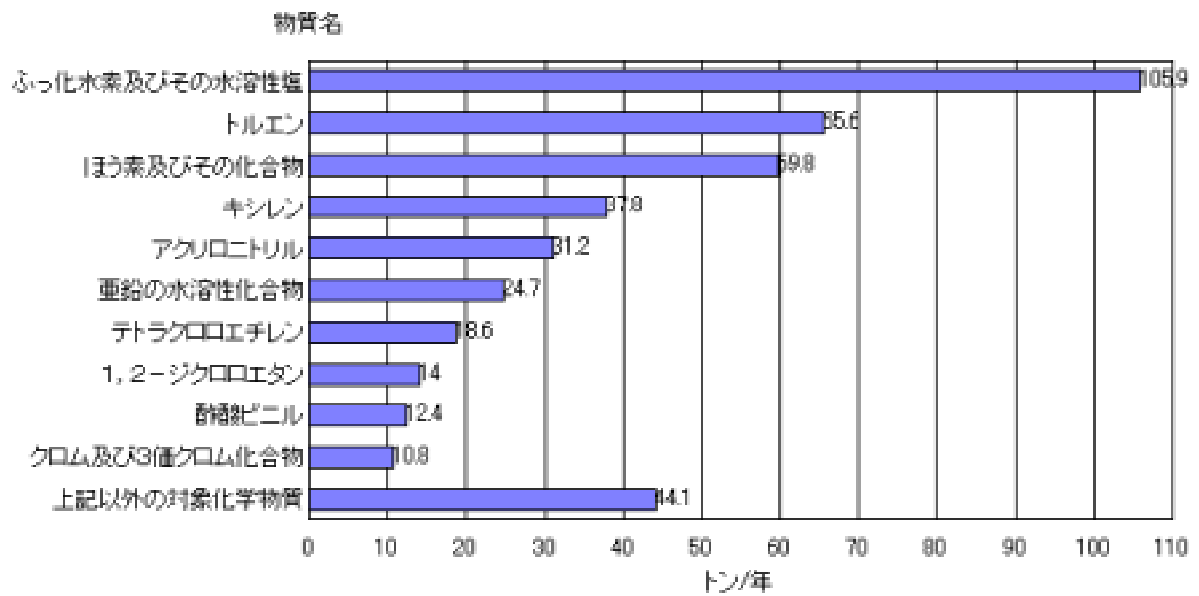
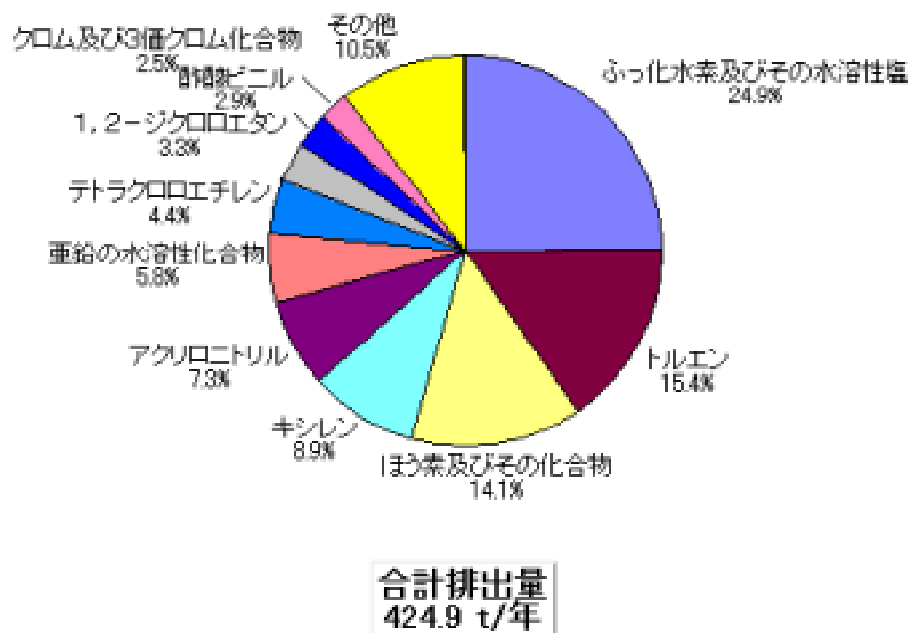


図 3 - 6 5 非製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量構成比



#### (4) 業種グループ別の物質別(移動量上位10物質+その他)移動量とその構成比

業種グループ別の物質別移動量をその上位10物質に着目してとりまとめたのが、表3-25である。

また各グループ別に移動量とその物質別構成比をそれぞれグラフにしたのが図3-66～図3-75である。

業種グループ別にどのような物質が上位を占めているかをみると、まず化学系製造業ではトルエンが移動量と同様全体の約30%を占めていた。以下、亜鉛の水溶性化合物の約13%、N,N-ジメチルホルムアミドの約9%などが続いていた。上位10物質で約82%を占めていた。

金属系製造業では排出量と同様マンガン及びその化合物がトップで全体の約33%を占めていた。上位10物質だけで約95%を占めていた。

機械系製造業では排出量のキシレンではなく、フッ化水素及びその水溶性塩がトップとなり、全体の約32%を占めていた。上位10物質で全体の約80%を占めていた。

その他製造業では排出量と同様トルエンがトップとなったが、全体の構成比でみると約35%であった。ここで特徴的なのは石綿が2位となり約29%を占めていたことである。金属系製造業と同様、上位10物質で、約93%を占めていた。

非製造業では鉛及びその化合物が、約33%でトップとなり、以下クロロジフルオロメタン、石綿、ジクロロフルオロメタンと続いており、ここではオゾン層破壊物質が上位にランクされているのが特徴となっていた。回収・破壊というシステムの反映ではないかと推測された。上位10物質では全体の約92%を占めていた。



表3-25 業種グループ別の物質別（移動量上位10物質+その他）移動量とその構成比

業種グループ	対象化学物質		移動量(t/年)	構成比(%)
	物質番号	物質名		
化学系製造業	227	トルエン	3,065.1	30.4%
	1	亜鉛の水溶性化合物	1,303.3	12.93%
	172	N,N-ジメチルホルムアミド	948.0	9.4%
	63	キシレン	905.3	8.98%
	95	クロロホルム	591.8	5.87%
	40	エチルベンゼン	397.0	3.94%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	370.6	3.68%
	93	クロロベンゼン	302.7	3.0%
	272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	223.0	2.21%
	12	アセトニトリル	187.8	1.86%
		上記以外の対象化学物質	1,787.5	17.73%
		合計	10,082.2	
金属系製造業	311	マンガン及びその化合物	1,352.6	33.74%
	68	クロム及び3価クロム化合物	1,185.3	29.57%
	230	鉛及びその化合物	536.8	13.39%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	259.1	6.46%
	227	トルエン	103.2	2.57%
	1	亜鉛の水溶性化合物	102.5	2.56%
	63	キシレン	78.0	1.95%
	232	ニッケル化合物	72.8	1.82%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	57.7	1.44%
	231	ニッケル	53.3	1.33%
		上記以外の対象化学物質	207.5	5.18%
		合計	4,008.9	
機械系製造業	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	334.4	31.98%
	16	2-アミノエタノール	100.2	9.58%
	311	マンガン及びその化合物	78.0	7.46%
	63	キシレン	71.1	6.8%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	62.2	5.95%
	227	トルエン	46.7	4.46%
	68	クロム及び3価クロム化合物	44.6	4.27%
	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	41.0	3.92%
	230	鉛及びその化合物	28.5	2.72%
	43	エチレングリコール	25.0	2.39%
		上記以外の対象化学物質	214.0	20.46%
		合計	1,045.6	
その他製造業	227	トルエン	749.8	35.08%
	26	石綿	613.2	28.69%
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	330.5	15.46%
	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	101.0	4.72%
	172	N,N-ジメチルホルムアミド	52.1	2.44%
	68	クロム及び3価クロム化合物	45.3	2.12%
	47	エチレンジアミン四酢酸	32.0	1.5%
	145	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	27.6	1.29%
	304	ほう素及びその化合物	26.1	1.22%
	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	20.3	0.95%
		上記以外の対象化学物質	139.6	6.53%
		合計	2,137.4	

業種グループ	対象化学物質		移動量(t/年)	構成比(%)	
	物質番号	物質名			
非製造業	230	鉛及びその化合物	55.1	32.91%	
	85	クロロジフルオロメタン(別名HCFC 22)	32.0	19.1%	
	26	石綿	21.1	12.6%	
	121	ジクロロジフルオロメタン(別名CFC 12)	11.0	6.57%	
	200	テトラクロロエチレン	9.3	5.55%	
	24	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	9.2	5.51%	
	227	トルエン	7.2	4.3%	
	1	亜鉛の水溶性化合物	3.4	2.04%	
	311	マンガン及びその化合物	3.0	1.77%	
	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	2.8	1.69%	
		上記以外の対象化学物質		13.3	7.95%
		合計		167.5	
	総計		17,441.4		

図 3 - 6 6 化学系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量

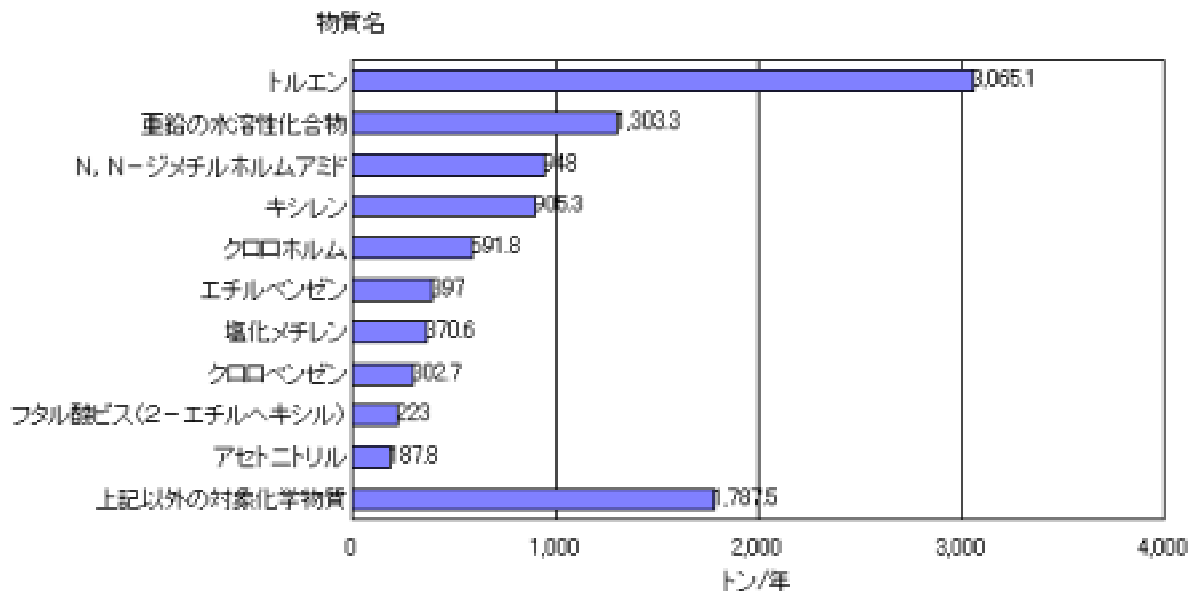


図 3 - 6 7 化学系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量構成比

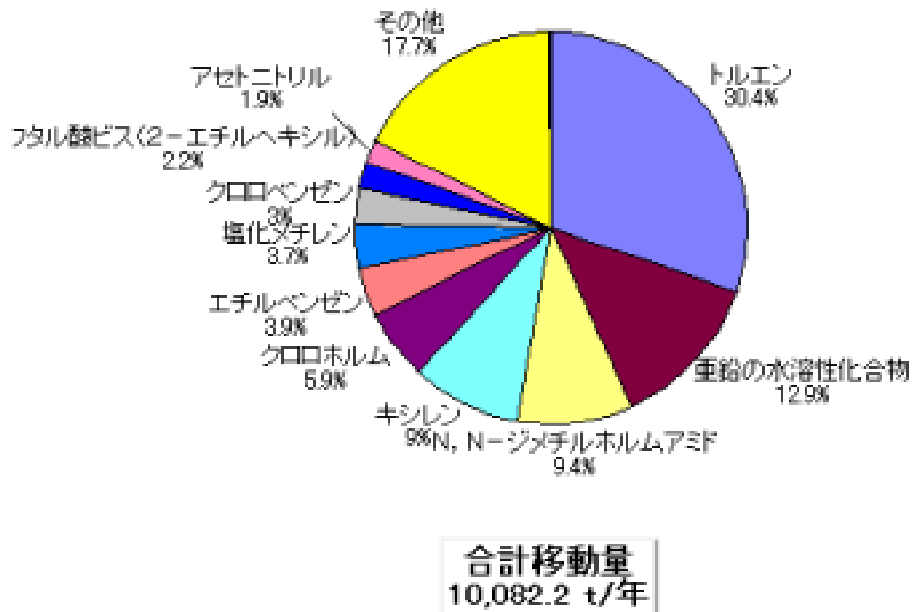


図 3 - 6 8 金属系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

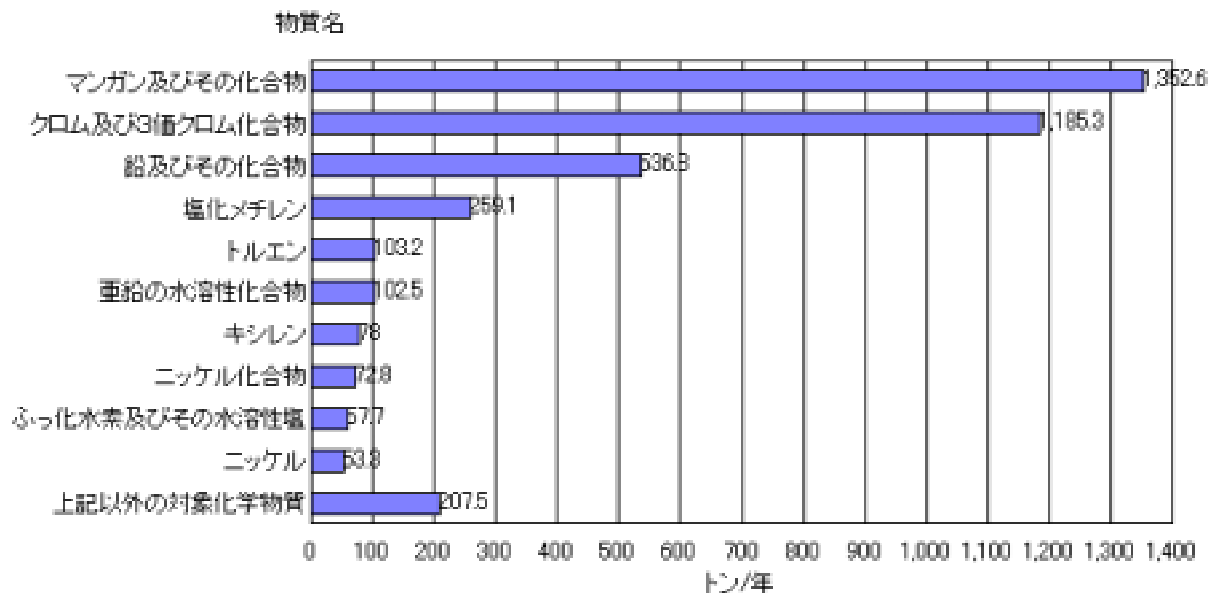


図 3 - 6 9 金属系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量構成比

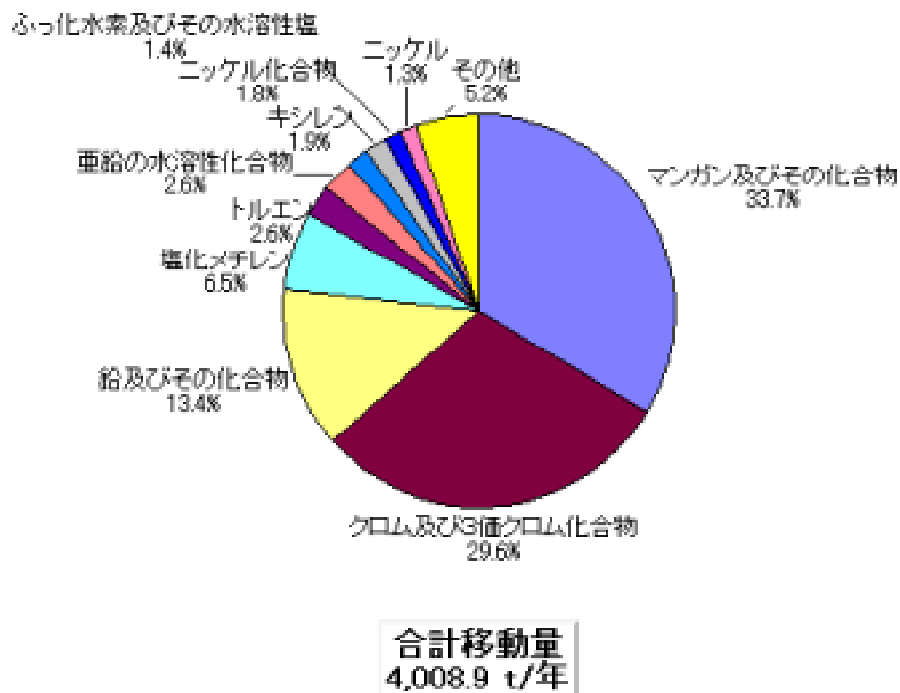


図 3 - 7 0 機械系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

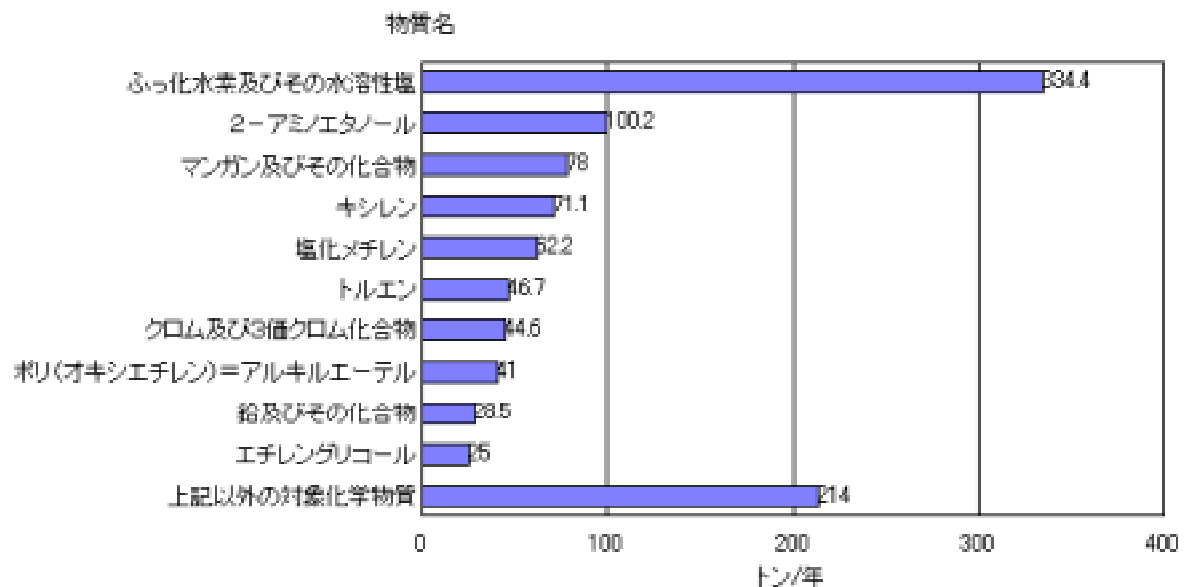


図 3 - 7 1 機械系製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量構成比

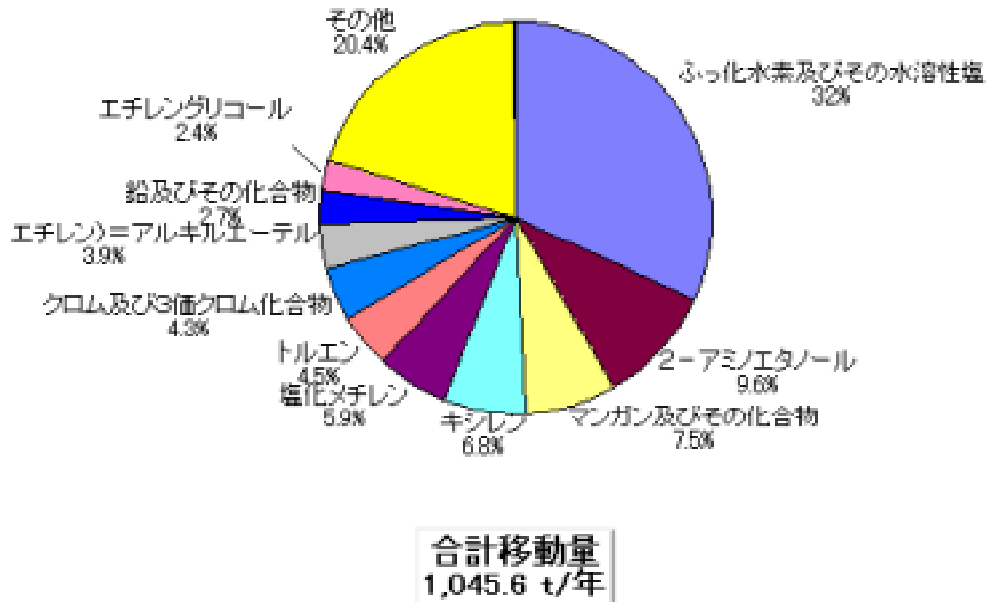


図 3 - 7 2 その他製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

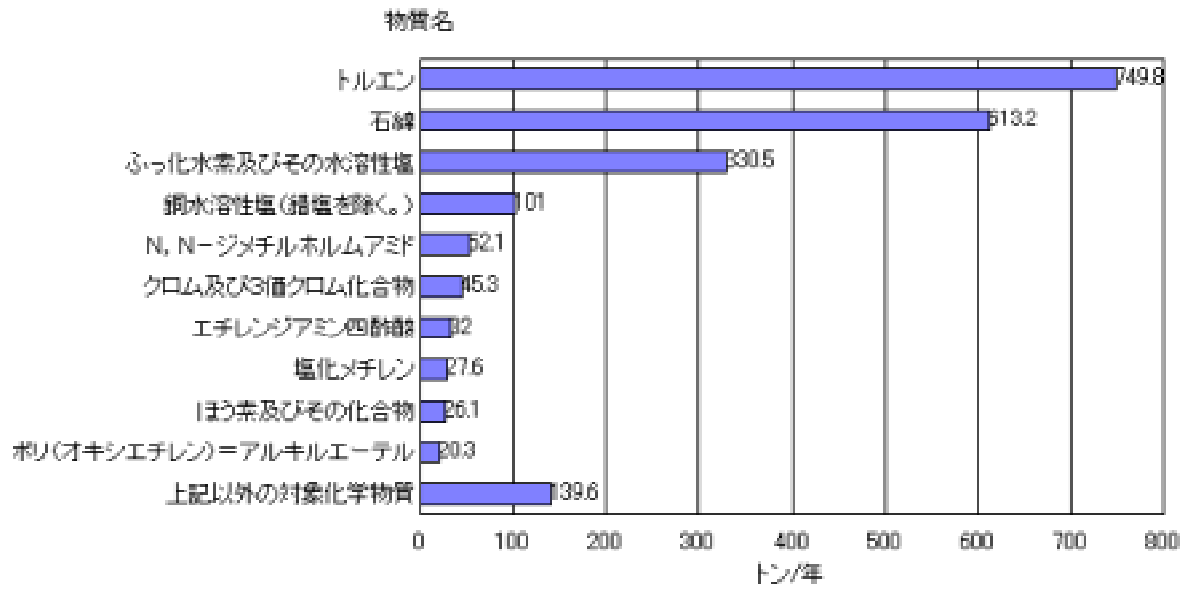


図 3 - 7 3 その他製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量構成比

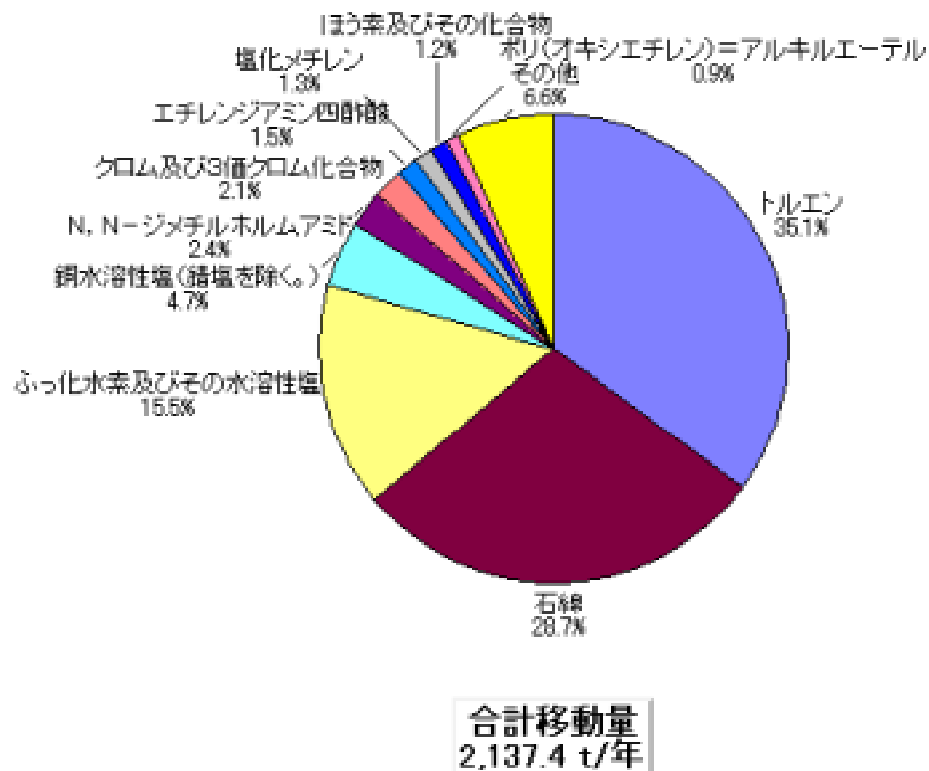


図 3 - 7 4 非製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の排出量

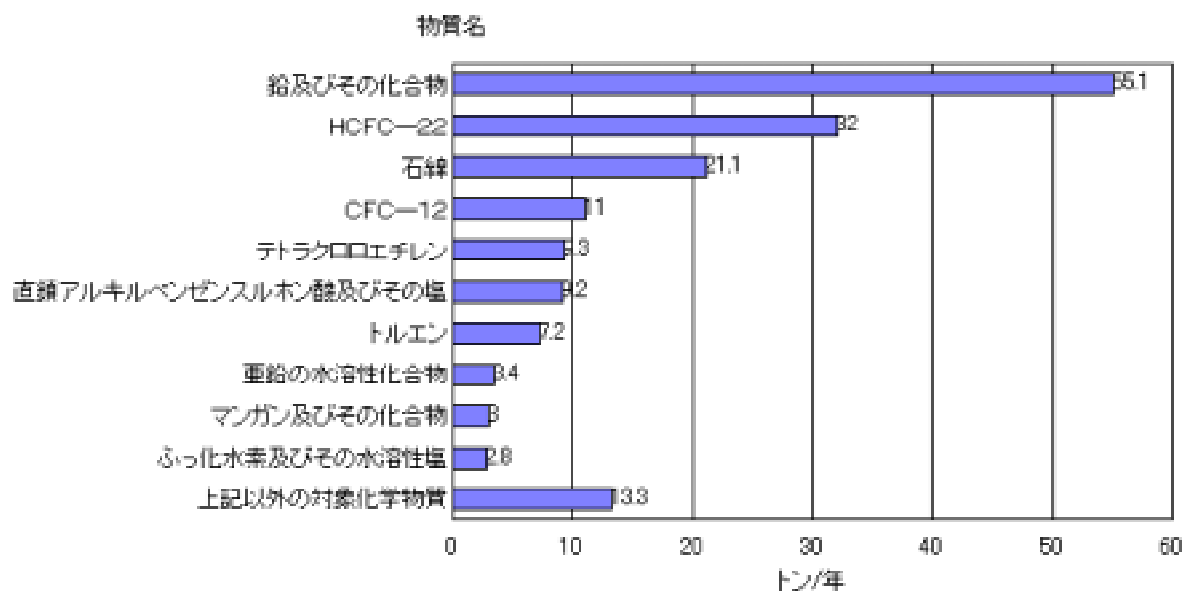


図 3 - 7 5 非製造業からの物質別（排出量上位 10 物質 + その他）の移動量構成比

